

口や今後の活動が期待されており、今後につながる活動計画を検討・実施し、次回また応募していただきたい。

活動内容が幅広くなり、行政側も横のつながりを意識した支援体制づくりを検討し、取り組んでいた。

奨励賞受賞団体は、ユニークな切り口や今後の活動が期待されており、今後につながる活動計画を検討・実施し、次回また応募していただきたい。

活動内容が幅広くなり、行政側も横のつながりを意識した支援体制づくりを検討し、取り組んでいた。



審査委員長  
琉球大学工学部教授  
池田 孝之氏

講評

第4回「まちづくりプラン賞」は、ホタルやオオゴマダラ・牧港川などの環境・自然系を中心とした活動内容が多く、市民の関心の高さがうかがえた。活動計画の内容やプレゼンテーションの技術も向上しており、奨励賞を含め11団体が受賞という審査結果につながった。一方「もの・かたち」づくりにつながる活動が少なく、今後期待したい。受賞団体は審査委員からの指摘事項を踏まえ、事務局と調整の上執行していただきたい。また地域とのつながりをもとより、団体同士の交流も行っていただきたい。

# 第4回 まちづくりプラン賞決定!

～こんなふうにしたらきっとステキな都市になる～



6月28日(土)浦添市役所9階で第4回まちづくりプラン賞の公開審査が行われました。まちづくりプラン賞とは市民のまちづくりに関する意識を高め、魅力あるまちづくりを形成することを目的とし、実現するための費用を市が助成するというものです。

開会式で儀間市長は「応募された皆様の熱意ある取り組みに敬意を表し、アイデアに満ちた活動計画の発表に期待致します」と挨拶をのべました。

審査会では各団体が審査員の前で、考えたプランの計画、内容を一生懸命発表しました。今年のまちづくりプラン賞は11団体12件が応募、その中の8団体が受賞しました。今回は受賞団体を紹介します。

また、今年から奨励賞が設けられ「緑ヶ丘自治会」「株式会社イーエーシー」「NPO法人ライフサポートでだこ」の3団体が受賞しました。

## オオゴマダラを 楽しむ会

助成決定額 10万円  
代表者 親富祖 善繁

オオゴマダラを増やす活動  
・チョウやその食草を通して自然を学び、自然豊かな地域づくりを目的とし、運動公園を拠点とし食草の維持管理や、苗の配布、蜜源となる花の植え付けを行う。

## 茶山自治会

助成決定額 20万円  
代表者 儀保 博信

浦添城址をホタルの里に！  
・「浦添城址をホタルの里に」をキャッチフレーズに、自治会と浦添小学校のパートナーシップによるまちづくりを展開。ホタルの飼育や生息マップづくり。  
広報・美化活動など。

## ニュータウン 自治会

助成決定額 4万円  
代表者 池宮城 ツル子

大型紙芝居による地域「コミュニティ」の再生  
・昨年の「太陽の王子」に続き、地域在住者の原作による「察度王」物語を紙芝居化し、歴史ある「てだこのまち」に誇りを持つよう地域や学校、その他施設で公演を行う。

## 牧港子ども会 環境探検隊

助成決定額 20万円  
代表者 根島 正男

清ら川 牧港川を取り戻そう  
・地域・牧港川周辺を散策(探検)し、現況をまとめ、浄化活動や花壇づくり、看板設置、クリーン作戦等を等して「清ら川牧港川」に戻すための啓発・啓蒙を行う。

## 当山エコキッズ

助成決定額 10万円  
代表者 盛島 明秀

牧港川の蘇生  
・微生物を利用した浄化活動を行い、看板設置やチラシ配布などの啓発活動を行う。また、浦西中と連携した活動も行い、有用微生物を利用した、さらなる環境に優しい取り組みを行う。

## やふそ遊々ホタル & オオゴマダラ

助成決定額 11万円  
代表者 宮城 富士雄

ホタルや蝶が舞う公園づくり  
・公民館に隣接したなかし公園や公園緑地課「花とみどりのまちづくりフェスタ事業」で整備された拝所周辺でホタルやオオゴマダラが生息できる環境づくり(勉強会、趣旨説明の看板設置、チラシ等による広報等)。

## ホタルの小道を 育む会

助成決定額 10万円  
代表者 安里 宗健

まち中のコミュニティガーデンづくり  
・ホタルが棲める環境づくりを、公園緑地課「花とみどりのまちづくりフェスタ事業」で整備された小道周辺で行い、また広報活動や宮城地内のホタルの生息マップづくりを行う。

## 仲西子ども 一丁目育成会

助成決定額 15万円  
代表者 伊智 保美

ミミズを育て、花を育て、地域の子どもたちを育む  
・ミミズの飼育を通して循環型の生態系を体験し、また花いっぱい活動に利用する。地域のエコ活動を子どもたちが担い公民館を拠点とした参加型の活動を展開する。